

# えんがわ

第84号

2014年3月発行

発行元  
衣笠病院グループ  
横須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel 046-852-1182

## 雪の日に見た 近所の絆

今年の二月は横須賀でも何度も大雪に見舞われました。週末からの雪、日曜の朝は長靴を履きスコップをとりだし雪かき。自宅から大通りまでの通路約八十メートルを確保しなければならず、まずは玄関前から幅約五十センチの歩道を除雪していく。十分もすると息があがり、一休み。すると隣のご主人も出てきて協力してくれる。途中の老夫婦の家の前は除雪されておらず、二人できれいに雪を取り除いた。先のほうの家の方も出てきて除雪作業隊は6名に。年甲斐もなく頑張って、二時間程で除雪完了し、歩道が確保されました。



阿部 誠

た。ふだん挨拶程度の関係が共に汗を流し、世間話をするうちに打ち解け、近所の絆を強くすることができました。翌日は予想通りの筋肉痛。しかし気分は爽快、近所の方々と協同作業できた達成感が勝っていました。近隣でも高齢化が進み一人暮らし、高齢のご夫妻家庭が多くなってきました。これから十年、団塊の世代が後期高齢者となる時代がそこまできています。隣近所と益々顔の見える関係を深くし、絆を強めて地域作りをしていきたいと感じている今日この頃です。

## えんがわ在宅 ひとくちメモ

### 転ばぬ先の知恵

いま、『振り込ませない』振り込め詐欺が増えています。自宅などに犯人側が直接、現金やカードを受け取りに来る手口です。現金自動受払い機（ATM）に利用限度額が設けられたことや、金融機関側の警戒が厳しくなったことにより、手渡しで現金を取れるだけ取ろうとする犯行が多くなり全体の九十パーセント以上を占めています。神奈川県内で平成二十五年一〜十一月の振り込め詐欺被害総額は、約三十五億四千七百万円。前年の二・九倍です。犯人もお金を取ろうと必死で、テレビドラマ顔負けの手の込んだ嘘の話をしてき

ます。電話も一回だけでなく、時間をおき再び電話をかけ、人間の心理をついた巧妙な演出をします。また、十四時〜一七時の時間帯に電話がかかってくることも多く、全体の五十四パーセントにもなっています。自分だけは大丈夫！と思っている危険です。個人でできる対策として、在宅中でも留守番電話に切り替えておく。個人電話帳から登録削除を行うことが警察からも推奨されています。“電話番号が変わった” “お金を取りに行く” という言葉には要注意を。浦賀・久里浜第二地域包括支援センター管理者 増田 恵美子

子供の頃、デパートで雛人形を見ていた時、店員さんに「あなたもここに飾りたいくらい」と言われ、怖くなり母の元に走って逃げたのを思い出しました。